

横田基地における人員降下訓練の実施について（口頭要請）

令和3年12月10日、北関東防衛局を通じて、「横田基地における人員降下訓練の実施について、令和3年12月13日（月）から12月17日（金）までのうちの2日間、通常の運用時間帯（午前6時から午後10時まで）の範囲で、1日はC-130、もう1日は外来機により実施する予定であり、延べ降下人数は約60名～70名程度」との情報がありました。

横田基地における人員降下訓練は、昨年も訓練中に事故が複数件発生しており、多くの周辺住民に不安を与えています。

ついては、このような状況を十分に認識されるよう強く求めるとともに、人員降下訓練について次のとおり要請します。

- 周辺住民への不安軽減のため、訓練情報の早期提供を徹底すること。
- 横田基地所属以外の航空機による人員降下訓練等を横田基地周辺で実施しないこと。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- 訓練従事者に対して、安全の重要性を認識させるとともに、基地外に影響を及ぼさないよう、安全対策に万全を期すこと。特に、使用する航空機及びパラシュート、装備品等の使用機材等の安全確認は徹底して行うこと。
- 必要最小限の機数及び人員での訓練を実施すること。

令和3年12月15日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

日の出町長 田村みさ子